

# 学園黙示録 無双物語

夜神零

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

一人の青年が神のミスにより学園黙示録の世界に転生して無双する物語です

至らぬ点が多いと思いますが暖かい目で見ていただけたら幸いです

# 目次

1、 終わりと始まりの日

1

1、終わりと始まりの日

20××  
××年×月×日

一人の人間に雷が落ち亡くなった

「あ、  
やっちゃまった  
た?????  
」



神「まあよいわい。それで何の用かというのはな、儂の手違いでお主を殺してしまったんじゃ」

青年「あ、やつぱり？なんか上から雷落ちてきたの見たから俺死んだんじゃね？とか思ってたんだけどやつぱり死んだのな」

神「なに？お主落雷が見えたというのか!？」

青年「うん。多分走馬灯みたいなもんだと思う」

神「(走馬灯は過去の記憶が一瞬で思い出す現象の事じやろう、てことはこやつかなり人外じみた動体視力だったのではないか?)  
それでじゃな、手違いで死なせてしまったお詫びにお主を転生させてやろうと思つての」

青年「お、マジですか。」

神「マジじゃ。とは言つても俗にいう漫画やアニメ、ラノベの世界であつて元の世界に転生できるいうわけではないからの」

青年「なんだ、そうなのか」

神「それで行きたい世界はあるか？それと転生する際の特典も好きだけくれてやるぞ」

青年「そうだな、じゃあまず世界は学園黙示録にしてくれ」

神「え？あんな世界に行きたいのか？」

青年「おう、殺しても罪に問われない世界って最高だよな」

神「変わったやつじゃのう）それで特典はどうする？」

青年「まず見た目だが『ちるらん』に出てくる芹沢鴨とも戦いが終わった後の土方歳三にしてくれ

そんで特典だがファンタジー的なものはいらない

身体能力は『範馬刃牙』にでてくる範馬勇次郎と同じにしてくれ、あ

あ勇次郎と同じように成長の限界がない感じで

努力しても努力しても努力以上が手に入る感じで。  
尚且つ勇次郎と同じでがん細胞とか細菌も意味がないとかそういう細かいとこまで勇次郎と同じにしてくれ

剣術については『刃牙道』に出てくる宮本武蔵や『ちるらん』『るろうに剣心』にでてくるどのキャラよりも上にしてくれ

そんで五感についてだけど味覚は食べたらなんの成分が含まれて  
いるのかわかるぐらい敏感に

嗅覚は警察犬より敏感に聴覚は『トリコ』のゼブラ以上で、視覚は  
ココ以上で

あとはそうだな武器についてだけど刃こぼれしない刀とか欲しい  
な。

それから原作開始まで戦いが無いのもつままないから常に戦える  
場所にいたいね」

神「随分細かいのゝそれに学園黙示録ならともかく他の世界じゃそ  
こまでチートな能力でもないがええのか？」

青年「うん、この位でもあの世界では無双レベルでしょ。」

神「確かにの。了解したすべて問題ないぞ。それから洋風と和風  
どっちにするのじゃ？」

青年「うん？」

神「服じゃよ、土方歳三の恰好じゃ和風の方が似合うがどっち系統の家に生まれたい？」

青年「なるほど、なら和風で」

神「了解した。では行ってこい!!」

青年「おう！」

バカン  
ツツツツツツ  
!!!!!!

青年「やっぱりこんな感じかよ~~~~~  
!!!!!!」

神「面白いやつやったのく、あれだけでは不安じゃからなこちら  
で勝手にいろいろつけてやろうww」